

令和3年度 大学の世界展開力強化事業 審査結果表

大 学 名	早稲田大学	タイプ	A①
事 業 名	文明間対話促進のための文化的知性を備えたソーシャルイノベーター共同育成プログラム		
海外の相手大学	北京大学、高麗大学校、南洋理工大学		

〔評価コメント〕

本事業計画は、既に長年の交流実績がある日中韓星の4大学間において、質保証を伴った国際交流を更に発展させることができるプログラムであると評価できる。外国人学生の受入及び日本人学生の派遣のための運営体制がよく整備されており、外国語能力の習得にも力を入れている。プログラムへの参加者数が、受入、派遣ともに多く計画されている点も評価できる。

一方で、「文化的知性」というキーワードで表される本事業が目指す人材像、及び「ソーシャルイノベーター」という概念について抽象度が高く、プログラムの具体的な内容との関連性が明確に示されていない。そのため、本事業の実践から期待される成果が、早稲田大学において既に達成されている国際交流の成果とどのように異なる特徴をもつのかについて、今後一層の可視化が望まれる。

また、実渡航による交流を重視するとしている一方で、新型コロナウイルスの感染状況に鑑み、外国人学生の4分の3、日本人学生の半数弱が自国におけるオンライン受講を行うこととなっており、3ヵ月以上の受入や派遣を行う学生数が全体の2割に満たない計画となっている。入学以来コロナ禍の影響を強く受けた学部生がプログラムの対象であることから、今後の新型コロナウイルスの感染状況に応じて実渡航とオンラインとのハイブリッド型を増やす、より効果の大きいオンライン教育を構築するといった、日中韓星4大学間の連携による工夫と対応が望まれる。

最後に、今回選定された貴学においては、将来の我が国と相手国との関係を見据え、質保証を伴う国際教育連携の先導的モデルに中心となって取り組む拠点大学であるということの意義とその責任、期待の重さを認識し、事業内容の実現に向け真摯に取り組まれることを強く要請する。